

東京学連剣友会 合同稽古会 感想文

早稲田大学（平成 28 年度卒）

東京大学（令和 3 年度卒）

金 希妍

先日の 12 月 5 日、2 年ぶりの開催となった東京学連剣友会の合同稽古会に参加させて頂きました。東京学連剣友会の稽古会には、私が早稲田大学に在学していた頃よくお邪魔させて頂いておりましたが、卒業後なかなか都合が合わず、私自身としても今回は 5 年ぶりの参加となりました。

新型コロナウイルスによる剣道界の自粛モードが続いていたこの 2 年間。私自身は、昨年の 6 月全日本剣道連盟の稽古における方針が出されてから、毎日のように稽古を続けてきました。

しかし、本来通っていた道場は依然閉鎖が続き、また、私が在学していた早稲田大学や東京大学の道場でも現役生のみ稽古が続いていたため、せっかく稽古が再開しても先生・先輩方にはお会いできない日々が続いていました。特に、学生の頃から可愛がってくださった先輩方はすでに高齢の方々が多く、先輩方の元気なお姿を拝見できないのが、何より寂しかったです。

そんな中、先日東京学連剣友会の稽古会が再開するとの連絡を頂き、どれほど嬉しかったか、私の拙い文章力では表現できるものではありません。

当日の稽古は二つのパートに別れて行われました。第一部では、年齢別・性別で別れ、回り稽古を数回、その後、短い自由稽古の順に行われました。第二部では、区分をつけずの自由稽古会。どの部門でも多くの先輩方に稽古をお願いできて、充実した稽古ができました。特に、滅多に女性の先生・先輩方と稽古する機会がなかった私は、今回のように性別で別れて稽古が行われたことで、これほど多くの女性の先輩方が参加されたことに驚き、とても新鮮な経験をさせて頂きました。また、現役学生の頃、一度もお会いしたことがなかった早稲田の先輩方や東大の先輩方にも、今回の稽古会で稽古をお願いでき、もう一つの交流の輪が広がりました。当日稽古つけて下さった先輩方に改めてお礼を申し上げます。

本来であれば、より多くの先輩方に稽古をお願いしたかったのですが、会場の広さや人数の多さから、お願いできなかったのが心残りでした。また次回の稽古会で稽古をお願いできればと思っております。お忙しい中、今回の稽古会の企画から実行までお骨折り頂いた東京

学連剣友会の関係者の皆様、本当にありがとうございました。まだまだコロナ禍が続いておりますので、くれぐれもご自愛ください。来年はより元気な姿で、皆様にお会いできることを楽しみにしております。